

# 実証試験評価

---

# 1 実施条件

## 実施条件

### 日程と地域

#### 1. 収集日

##### 1) 桜田1丁目自治会 桜田3丁目自治会

- 1回目：2023年10月24日(火)
- 2回目：2023年11月 7日(火)
- 3回目：2023年11月14日(火)
- 4回目：2023年11月21日(火)
- 5回目：2023年11月28日(火)

##### 2) 新開自治新和会

- 1回目：2023年10月25日(水)
- 2回目：2023年11月 1日(水)
- 3回目：2023年11月 8日(水)
- 4回目：2023年11月15日(水)
- 5回目：2023年11月22日(水)
- 6回目：2023年11月29日(水)

#### 2. 組成分析実施日

- 1回目：10月25日(水)  
(24日・25日回収分)
- 2回目：11月 1日(水)  
(1日回収分)
- 3回目：11月 8日(水)  
(7日・8日回収分)
- 4回目：11月15日(水)  
(14日・15日回収分)
- 5回目：11月22日(水)  
(21日・22日回収分)
- 6回目：11月29日(水)  
(28日・29日回収分)

#### 3. 圧縮梱包日

- 1回目：11月 9日(木)  
(1日・7日・8日回収分)
- 2回目：11月16日(水)  
(14日・15日回収分)
- 3回目：11月30日(木)  
(21日・22日・28日・29日回収分)

#### 4. 再商品化日

- 搬入日：12月15日(金)
- 処理日：12月22日(金)  
(圧縮梱包物3回分)

### 期間人口

	人口(人)					
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
桜田1丁目(桜田1丁目自治会)	799		799	799	799	799
桜田3丁目(桜田3丁目自治会)	339		337	337	337	337
新開1丁目(新開自治新和会)	1,047	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041
計	2,185	1,041	2,177	2,177	2,177	2,177

# 1 実施条件

## 分別省令と本実証試験での組成分類との関係

### 分別省令(※)

#### ■分別収集物に含めて良いものに関する基準(要旨)

- A 原材料が主としてプラスチックであるプラスチック容器包装廃棄物(第3号イ関係)
- B 原材料の全部又は大部分がプラスチックであるプラスチック使用製品廃棄物(第3号ロ関係)

#### ■分別収集物に含めてはいけないものに関する基準(要旨)

- C 汚れが付着しているプラスチック使用製品廃棄物(第3号関係)
- D 他の法令又は法令に基づく計画により分別収集が定められているもの(第4号関係)
  - ① PETマークのある容器(飲料又はしょうゆ)が廃棄物となったもの(第4号イ関係)
  - ② 使用済小型電子機器等が廃棄物となったもの(第4号ロ関係)
  - ③ 一辺が50cm以上のもの(第4号ハ関係)
- E 分別収集物の再商品化を著しく阻害するおそれのあるもの(第5号関係)
  - ① リチウムイオン蓄電池等の再商品化の過程で火災等を生ずるおそれのあるもの(第5号イ関係)
  - ② 人が感染するおそれのある病原体が付着しているもの又はこれらのおそれのあるもの(第5号ロ関係)
  - ③ その他の再商品化を著しく阻害するプラスチック使用製品廃棄物(第5号ハ関係)



No.	分類項目	分別省令との対応
1	食品包装プラスチック	A
2	容器包装プラスチック(食品以外)	A
3	排出袋	B
4	製品プラスチック (100%プラ素材のものに限る)	B
5	汚れプラスチック	C
6	禁忌品 (再商品化を著しく阻害する恐れのあるもの)	E-① -② -③
7	その他	D-① -② -③

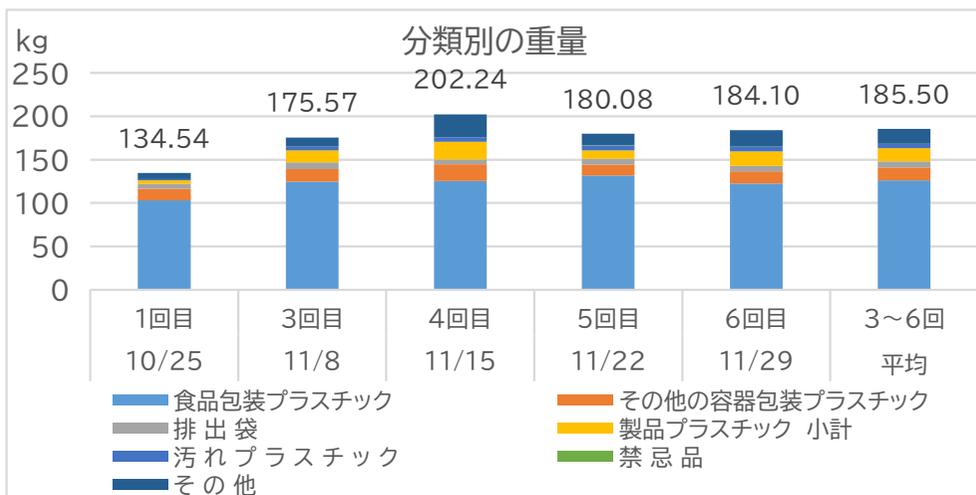
(※)分別収集物の基準並びに分別収集物の再商品化並びに使用済プラスチック使用製品及びプラスチック使用製品産業廃棄物等の再資源化に必要な行為の委託の基準に関する省令(令和4年環境省令第1号)

# 2 プラスチック類の排出量及び分別協力率

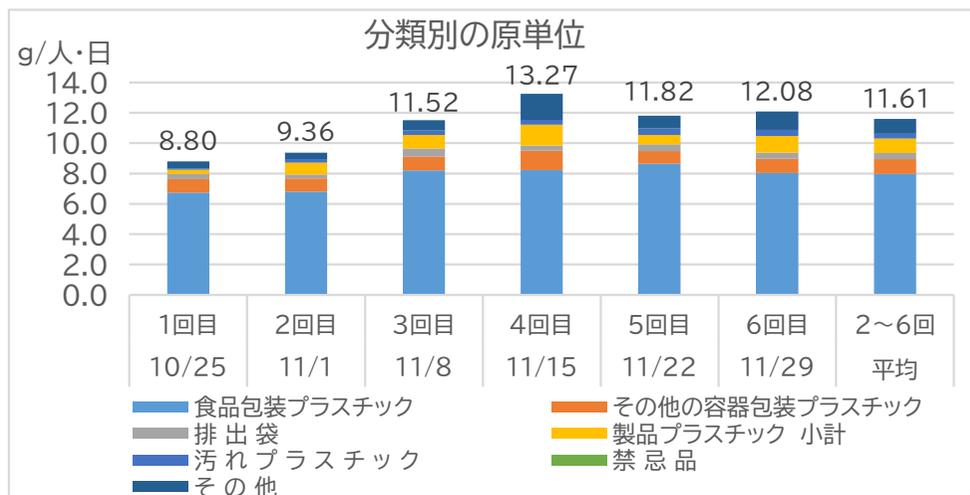
## 排出量（組成分析ベース）

- 試験前から試験中平均の推移をみると、排出量(kg)では134から185まで約38%、排出原単位(g/人・日)では8.80から11.61まで約32%増加した。

### 排出重量



### 排出原単位変化率・寄与率



※排出重量を期間人口で除して算出  
※2回目は新開自治新和会の地域のみ回収

## 分別協力率

- 実証試験終了後に実施した住民アンケートの回答（N=119）をみると（右図）、82%の住民が分別に協力した、と回答している。
- 一方、本市が定期的実施している市民意識調査の令和3年度の回答（N=2,954）を見ると（隣図）、適切な分別を実施している割合は約57%に収束しており、本格実施し分別が根付いた場合の推定分別協力率は、57%として見積もる方が適当と考えられる。



#	設問	回答方式
問7	今回の実証事業にて、食品包装プラスチックと同一袋でその他の容器包装プラスチックや製品プラスチックを収集する時の分別に取り組みましたか。	選択式



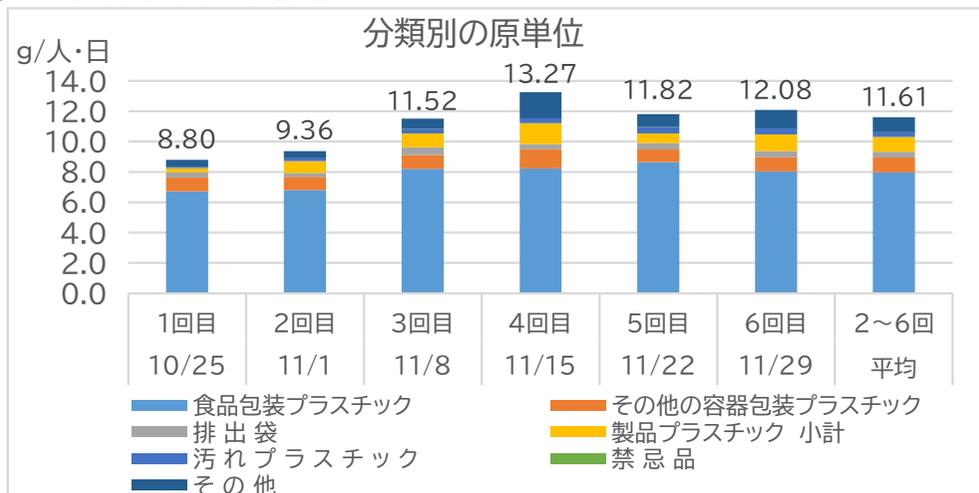
※令和5年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の本市のアンケート結果より

# 3 発生したプラスチック類の性状

## 排出原単位変化率・寄与率

- 排出原単位の変化率が高い項目は、禁忌品、汚れプラ、製品プラ、その他だった。全体の変化率（約32%増）に対する寄与率としては、製品プラ（24%）よりも食品包装プラ（44%）の方が高く、一括回収により、従来の分別も強化される一方、汚れプラ及びその他（合計27%）が製品プラ以上に全体の増加に影響している結果となった。

### 排出原単位（再掲）



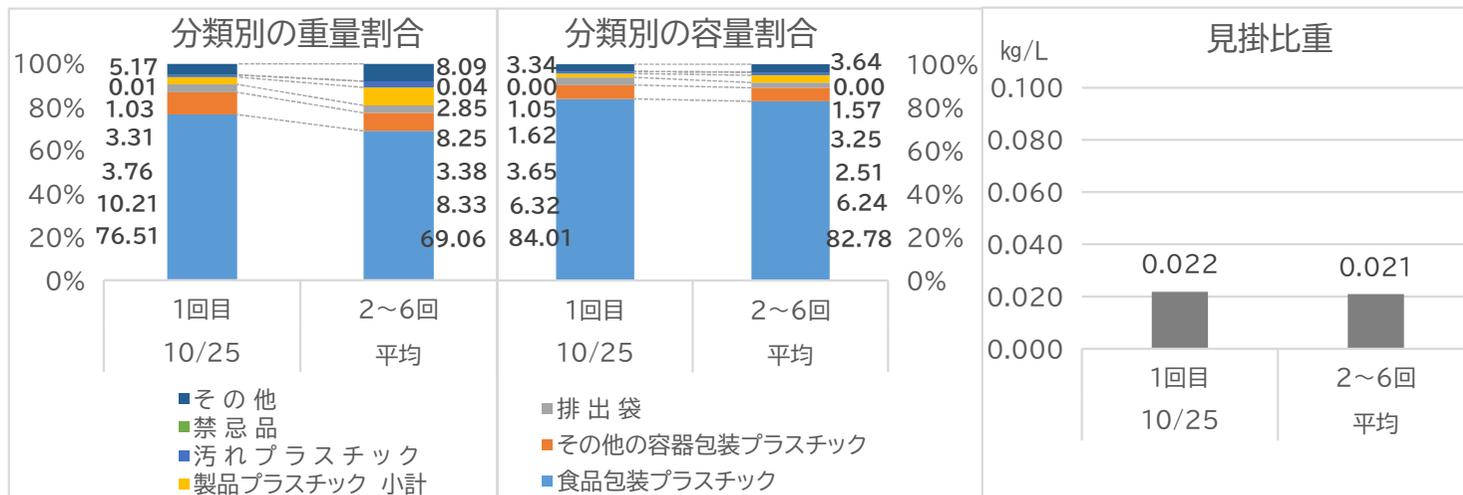
※排出重量を期間人口で除して算出

### 排出原単位変化率・寄与率

	1回目と2~6回平均との比較	
	変化率	全体変化への寄与率
食品包装プラスチック	+19%	44%
その他の容器包装プラスチック	+8%	2%
排出袋	+19%	2%
製品プラスチック 小計	+232%	24%
汚れプラスチック	+269%	9%
禁忌品	+300%	0%
その他	+114%	18%
合計	+32%	100%

### 重量・容量・見かけ比重

- 重量・容量ともに容器包装の比率が最も高かった（重量では約86% から約77%まで、容量では約90% から約89%まで推移した）。
- 見かけ比重（全体）は、試験前と試験中では、大きな変化は見られなかった。

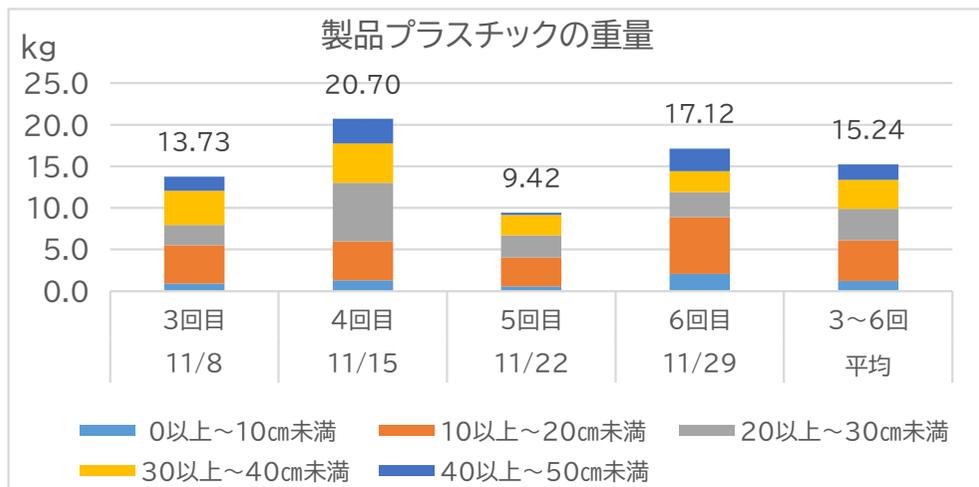


# 3 発生したプラスチック類の性状

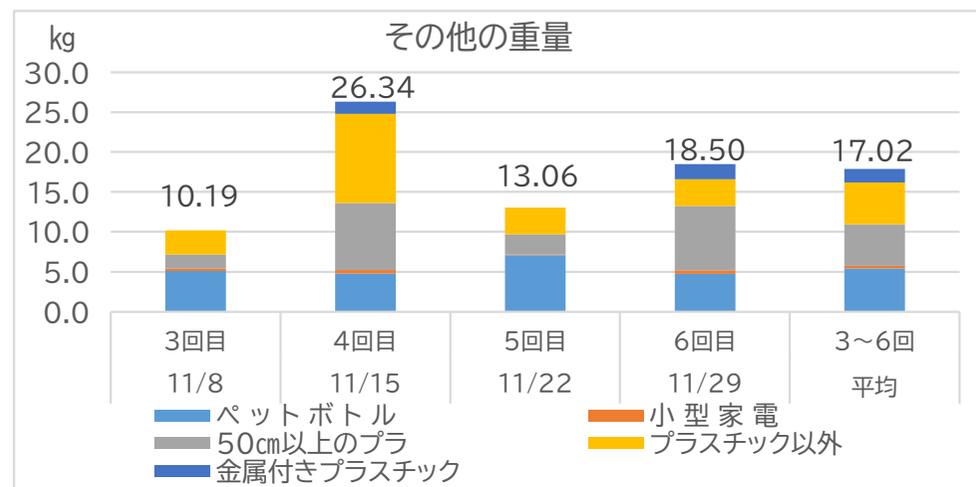
## 製品プラスチックとその他の重量割合

- 製品プラは、30cm未満までが約2/3を占めている。
- その他は、バラつきが大きい50cm以上のプラやペットボトルで約2/3を占めている。

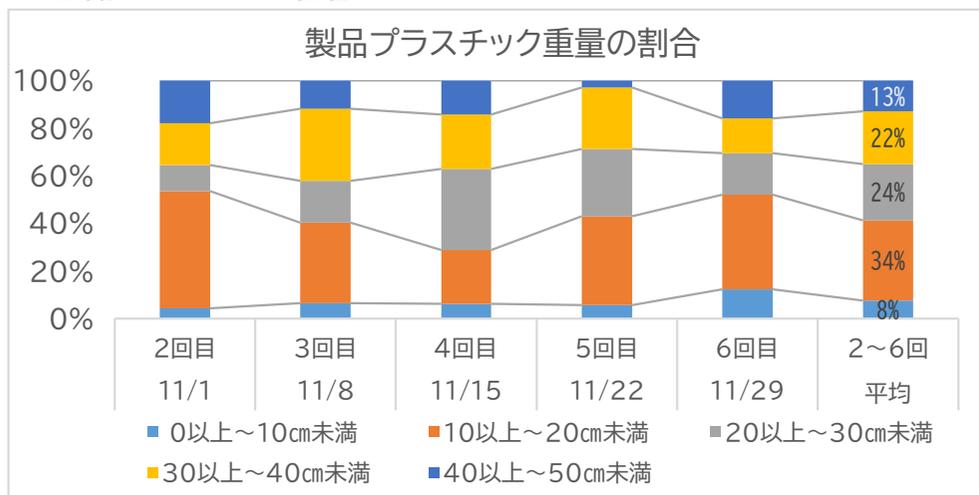
### 製品プラスチック重量



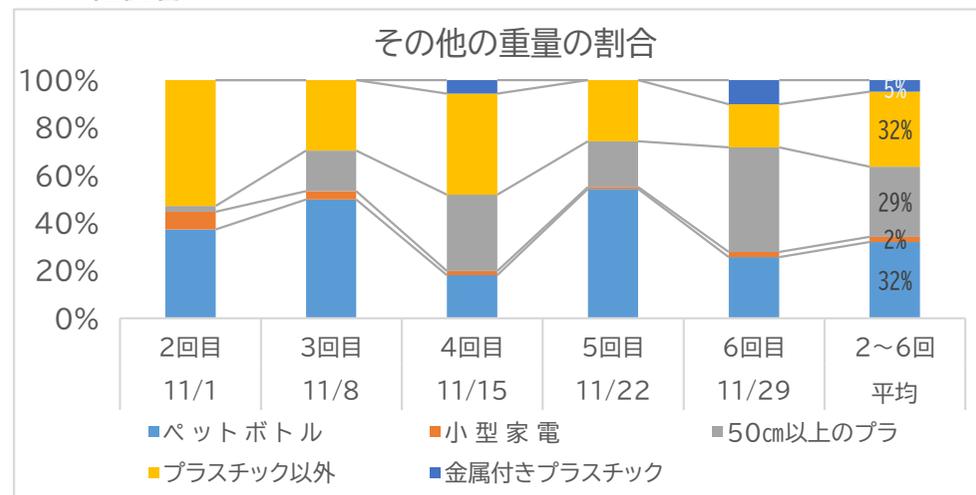
### その他重量



### 製品プラスチック割合



### その他割合









# 3 発生したプラスチック類の性状

## 禁忌品

### 禁忌品分類

No.	禁忌品リスト
-----	--------

- リチウムイオン電池使用機器  
(加熱式タバコ、モバイルバッテリー、電子機器のバッテリー等)
- 火災を生ずるおそれのあるもの  
(ライター、ガスボンベ、スプレー缶、乾電池等)
- 感染性廃棄物  
(点滴用器具(輸液パック部分は除く。)、注射針、注射器等)
- 刃物等
- 厚物・強化プラ等  
(まな板、擬木等の厚みのあるもの、炭素繊維やガラス繊維で強化されたプラスチック)

第1回10月25日\_カミソリ (No.4 関連)



第3回11月8日\_スプレー缶(染毛剤) (No.2 関連)



第5回11月22日\_ハンディファン (No.1 関連)



第6回11月29日\_乾電池 (No.2 関連)



# 3 発生したプラスチック類の性状

## その他

### その他分類

No.	その他リスト
-----	--------

1 ●PET製容器

2 ●使用済小型家電電子機器

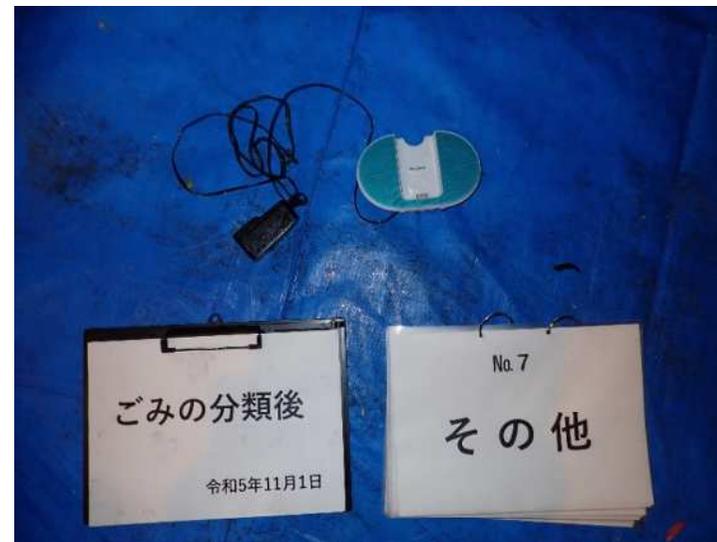
3 ●50cm以上の製品プラスチック

4 ●その原材料の全部又は一部分がプラスチックであるもの以外

第1回10月25日\_リモコン等 (No.1・No.2・No.4関連)



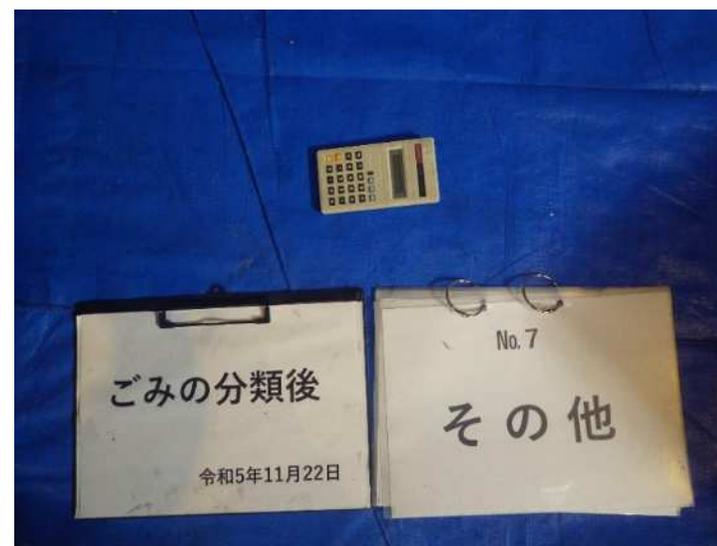
第2回11月1日\_ドッグスピーカー (No.2・No.4関連)



第4回11月15日\_50cm以上の製品等 (No.3関連)



第5回11月22日\_電子卓上計算機 (No.2関連)



# 3 発生したプラスチック類の性状

## 組成結果一覧 (1/2)

分類項目	10/25			11/1			11/8			11/15			11/22			11/29			平均		
	1	回目	試験前	2	回目	試験中	3	回目	試験中	4	回目	試験中	5	回目	試験中	6	回目	試験中	3-6回目	回目	試験中
	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L
食品包装プラスチック	102.93	5180.0	0.020	49.60	3030.0	0.016	124.76	7280.0	0.017	125.23	7335.0	0.017	131.77	7860.0	0.017	122.32	6240.0	0.020	126.02	7178.8	0.018
その他の容器包装プラスチック	13.74	390.0	0.035	6.23	190.0	0.033	14.18	360.0	0.039	19.45	780.0	0.025	12.56	580.0	0.022	14.49	555.0	0.026	15.17	568.8	0.028
排出袋	5.06	225.0	0.022	1.88	90.0	0.021	7.97	170.0	0.047	5.49	180.0	0.031	6.82	260.0	0.026	5.72	260.0	0.022	6.50	217.5	0.031
製品プラスチック	0以上~10cm未満			0.26	5.0	0.052	0.90	10.0	0.090	1.28	10.0	0.128	0.53	8.0	0.066	2.10	20.0	0.105	1.20	12.0	0.097
	10以上~20cm未満			2.89	30.0	0.096	4.61	60.0	0.077	4.69	80.0	0.059	3.52	40.0	0.088	6.80	90.0	0.076	4.91	67.5	0.075
	20以上~30cm未満			0.65	10.0	0.065	2.43	50.0	0.049	7.04	155.0	0.045	2.67	50.0	0.053	3.00	70.0	0.043	3.79	81.3	0.048
	30以上~40cm未満			1.04	20.0	0.052	4.14	55.0	0.075	4.74	125.0	0.038	2.42	40.0	0.061	2.48	90.0	0.028	3.45	77.5	0.050
40以上~50cm未満			1.06	15.0	0.071	1.65	50.0	0.033	2.95	75.0	0.039	0.28	5.0	0.056	2.74	130.0	0.021	1.91	65.0	0.037	
製品プラスチック 小計	4.46	100.0	0.045	5.90	80.0	0.074	13.73	225.0	0.061	20.70	445.0	0.047	9.42	143.0	0.066	17.12	400.0	0.043	15.24	303.3	0.054
汚れプラスチック	1.38	65.0	0.021	1.66	50.0	0.033	4.66	120.0	0.039	5.03	105.0	0.048	6.22	150.0	0.041	5.94	180.0	0.033	5.46	138.8	0.040
禁忌品	0.01	0.1	0.100	0.00	0.0		0.08	0.5	0.160	0.00	0.0	-	0.23	0.3	0.767	0.01	0.1	0.100	0.08	0.2	0.342
その他	6.96	206.0	0.034	2.95	72.0	0.041	10.19	221.0	0.046	26.34	426.0	0.062	13.06	360.1	0.036	18.50	408.0	0.045	17.02	353.8	0.047
合計	134.54	6166.1	0.022	68.22	3512.0	0.019	175.57	8376.5	0.021	202.24	9271.0	0.022	180.08	9353.4	0.019	184.10	8043.1	0.023	185.50	8761.0	0.021

その他の内訳	1			2			3			4			5			6			3~6		
	回目	試験中		回目	試験中		回目	試験中		回目	試験中		回目	試験中		回目	試験中		回目	試験中	
	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L	重量 kg	容量 ℓ	見掛比重kg/L
ペットボトル	4.49	170.0	0.026	1.10	40.0	0.028	5.08	160.0	0.032	4.76	190.0	0.025	7.10	220.0	0.032	4.74	160.0	0.030	5.42	182.50	0.03
小型家電	0.32	1.0	0.320	0.22	1.0	0.220	0.35	1.0	0.350	0.44	1.0	0.440	0.09	0.1	0.900	0.41	1.0	0.410	0.32	0.78	0.53
50cm以上のプラ				0.07	1.0	0.070	1.73	10.0	0.173	8.43	130.0	0.065	2.51	60.0	0.042	8.12	162.0	0.050	5.20	90.50	0.08
プラスチック以外	2.15	35.0	0.320	1.56	30.0	0.052	3.03	50.0	0.061	11.20	95.0	0.118	3.36	80.0	0.042	3.33	60.0	0.056	5.23	71.25	0.07
金属付きプラスチック										1.51	10.0	0.151				1.90	25.0	0.076	1.71	17.50	0.11

# 3 発生したプラスチック類の性状

## 組成結果一覧 (2/2)

回目	重量%								容量%								見掛比重kg/L							
	1	2	3	4	5	6	2~6回	3~6回	1	2	3	4	5	6	2~6回	3~6回	1	2	3	4	5	6	2~6回	3~6回
食品包装プラスチック	76.51	72.71	71.06	61.92	73.17	66.44	69.06	68.15	84.01	86.28	86.91	79.12	84.03	77.58	82.78	81.91	0.020	0.016	0.017	0.017	0.017	0.020	0.017	0.02
その他の容器包装プラスチック	10.21	9.13	8.08	9.62	6.97	7.87	8.33	8.13	6.32	5.41	4.30	8.41	6.20	6.90	6.24	6.45	0.035	0.033	0.039	0.025	0.022	0.026	0.029	0.028
排出袋	3.76	2.76	4.54	2.71	3.79	3.11	3.38	3.54	3.65	2.56	2.03	1.94	2.78	3.23	2.51	2.50	0.022	0.021	0.047	0.031	0.026	0.022	0.029	0.031
0以上~10cm未満		0.38	0.51	0.63	0.29	1.14	0.59	0.65		0.14	0.12	0.11	0.09	0.25	0.14	0.14		0.052	0.090	0.128	0.066	0.105	0.088	0.097
10以上~20cm未満		4.24	2.63	2.32	1.95	3.69	2.97	2.65		0.85	0.72	0.86	0.43	1.12	0.80	0.78		0.096	0.077	0.059	0.088	0.076	0.079	0.075
20以上~30cm未満		0.95	1.38	3.48	1.48	1.63	1.79	1.99		0.28	0.60	1.67	0.53	0.87	0.79	0.92		0.065	0.049	0.045	0.053	0.043	0.051	0.048
30以上~40cm未満		1.52	2.36	2.34	1.34	1.35	1.78	1.85		0.57	0.66	1.35	0.43	1.12	0.82	0.89		0.052	0.075	0.038	0.061	0.028	0.051	0.050
40以上~50cm未満		1.55	0.94	1.46	0.16	1.49	1.12	1.01		0.43	0.60	0.81	0.05	1.62	0.70	0.77		0.071	0.033	0.039	0.056	0.021	0.044	0.037
製品プラスチック 小計	3.31	8.65	7.82	10.24	5.23	9.30	8.25	8.15	1.62	2.28	2.69	4.80	1.53	4.97	3.25	3.50	0.045	0.074	0.061	0.047	0.066	0.043	0.058	0.054
汚れプラスチック	1.03	2.43	2.65	2.49	3.45	3.23	2.85	2.96	1.05	1.42	1.43	1.13	1.60	2.24	1.57	1.60	0.021	0.033	0.039	0.048	0.041	0.033	0.039	0.040
禁忌品	0.01	0.00	0.05	0.00	0.13	0.01	0.04	0.04	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.100	-	0.160	-	0.767	0.100	0.342	0.342
その他	5.17	4.32	5.80	13.02	7.25	10.05	8.09	9.03	3.34	2.05	2.64	4.59	3.85	5.07	3.64	4.04	0.034	0.041	0.046	0.062	0.036	0.045	0.046	0.047
	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.022	0.019	0.021	0.022	0.019	0.023	0.021	0.021

回目	人口					
	1	2	3	4	5	6
桜田1丁目	799		799	799	799	799
桜田3丁目	339		337	337	337	337
新開1丁目	1,047	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041
計	2,185	1,041	2,177	2,177	2,177	2,177

回目	原単位(g/人・日)											
	1	2	3	4	5	6	2~6回	変化率	寄与率	3~6回	変化率	寄与率
食品包装プラスチック	6.730	6.807	8.187	8.218	8.647	8.027	7.977	19%	44%	8.270	23%	46%
その他の容器包装プラスチック	0.898	0.855	0.931	1.276	0.824	0.951	0.967	8%	2%	0.996	11%	3%
排出袋	0.331	0.258	0.523	0.360	0.448	0.375	0.393	19%	2%	0.427	29%	3%
0以上~10cm未満		0.036	0.059	0.084	0.035	0.138	0.070			0.079		
10以上~20cm未満		0.397	0.303	0.308	0.231	0.446	0.337			0.322		
20以上~30cm未満		0.089	0.159	0.462	0.175	0.197	0.216			0.248		
30以上~40cm未満		0.143	0.272	0.311	0.159	0.163	0.210			0.226		
40以上~50cm未満		0.145	0.108	0.194	0.018	0.180	0.129			0.125		
製品プラスチック 小計	0.290	0.810	0.901	1.358	0.678	1.123	0.962	232%	24%	1.000	245%	21%
汚れプラスチック	0.090	0.228	0.306	0.330	0.408	0.390	0.332	269%	9%	0.359	299%	8%
禁忌品	0.001	0.000	0.005	0.000	0.015	0.001	0.004	300%	0%	0.005	400%	0%
その他	0.455	0.405	0.669	1.728	0.857	1.214	0.975	114%	18%	1.117	145%	20%
	8.795	9.363	11.522	13.270	11.817	12.081	11.610	32%	100%	12.174	38%	100%

# 4 実証試験による温室効果ガス発生量及びコスト

## 温室効果ガス

### 【試算条件】

- 試験前：R4実績（人口\_1,338,810人、可燃中プラ潜在量\_41.36g/人・日、分別適合比率\_79%、再商品化手法・割合\_マテリアル100%、再商品化率\_51%）、実証試験結果（食品プラ排出量\_8.8g/人・日）
- 一括回収：R4実績（人口\_1,338,810人、可燃中プラ潜在量\_38.55g/人・日、分別適合比率\_79%）、実証試験結果（プラ排出量\_11.61g/人・日、再商品化手法・割合\_マテリアル100%、再商品化率\_47%）
- プラスチック製容器包装再商品化手法およびエネルギーリカバリーの環境負荷評価（LCA）2019年3月で示される方法に準じて算出。ただし、本市のインベントリデータがある場合はそちらを優先的に活用。

### 【試算結果】

- 実証試験前と試験中のデータを年換算して試算すると、二酸化炭素排出量は、約2%削減されることが確認された。

単位：t-CO<sub>2</sub>/年

	試験前	プラスチック一括回収（試験中）
収集運搬	278	320
中間処理	45,446	43,138
再資源化	3,709	4,892
合計	49,433	48,350 (▲2.2%)

# 4 実証試験による温室効果ガス発生量及びコスト

## コスト

### 【試算条件】

- 試験前：R4実績（人口\_1,338,810人、可燃中プラ潜在量\_ 41.36g/人・日、分別適合比率\_79%）、実証試験結果（食品プラ排出量\_ 8.8g/人・日）
- 一括回収：R4実績（人口\_ 1,338,810人、分別適合比率\_79%）、実証試験結果（プラ排出量\_11.61g/人・日、可燃中プラ潜在量\_ 38.55g/人・日、製品プラ率\_8%）
- 製品プラの再商品化以外のコスト情報は、さいたま市一般会計基準のR4実績、製品プラの再商品化費用は容リ協資料より

### 【試算結果】

- 実証試験前と試験中のデータを年換算して試算すると、コストは、約11%増加することが確認された。

単位：百万円/年

	試験前	プラスチック一括回収（試験中）
収集運搬	416	462
中間処理	467	444
再資源化	210	303
合計	1,092	1,209 (+11%)

# 5 実証事業実施による桜環境センターへの影響

## 実施状況

- 処理の流れは、3F手選別⇒破袋機⇒2F手選別⇒プラスチック圧縮梱包機となっている。2F手選別では、汚れたプラの除去、未破袋物の破袋を実施（施設職員の方からヒアリング）。
- 製品プラの破袋機の通過状況としては、概ね、支障なく通過していた。水のポリ容器、カゴについては、破袋機でなかなか噛みこまず、噛みこんでも一度で通過せず、破袋機内部で残っている時間が長かった。これらは、何度も噛みこまれて、砕かれた後に通過した。



手選別の速度は、製品プラ処理時と通常時で変えずに実施（施設職員の方からヒアリング）。



（投入ホッパにモノが入っている状態から）処理を開始してから約5分後にはプラスチック圧縮梱包機に入る（施設職員の方からヒアリング）。



# 5 実証事業実施による桜環境センターへの影響

## 実施結果

- 本実証試験では、他施設で頻発しているリチウムイオン電池の火災等を予防するため、火曜日の受入分は機器などの重量不適物は粗選別したうえで、水曜日まで保管した。こうしたこともあり、火災は発生しなかった。
- また、実証試験の規模からラインを通した量も1ベール/回程度、処理時間にすると1時間程度であった。ライン上で問題となるような閉塞などは生じず、中間処理として大きなトラブル等なく終了することができた。
- ただし、破袋機は、本来袋を破る機器ということもありポリ容器等の一部の製品プラスチックは、破碎に時間を要しており、本格実施した場合、処理に時間を要する硬質プラスチック等を混入させないかが課題となる。

ベール品寸法（膨らんでいる箇所を採寸）

	11/9 (1/2)	11/9 (2/2)	11/16	11/30
a：高さ	1,040	1,010	1,150	1,100
b：幅	1,100	1,080	1,000	1,040
c：奥行	1,100	1,100	1,100	1,090

単位：mm

圧縮梱包直後（11/30）



ベール中の製品プラ



富山環境整備へ搬出



# 6 アンケート調査の結果

## 令和5年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業

- 本市は、環境省の令和5年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業に採択されている。その中で実施されているアンケート結果の抜粋を以降に示す。

2023年08月04日

再生循環

### 令和5年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の公募採択事業について

[▶ To English](#)

- 令和5年6月2日（金）～同年7月3日（月）の期間、（1）市区町村によるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集・リサイクル、（2）地方公共団体が製造事業者等と連携して実施する使用済プラスチック使用製品の自主回収・リサイクルについて、「プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」の公募を行いました。
- 申請書類等による審査を行った結果、（1）については10件、（2）については2件の事業を採択しました。

#### ■概要

プラスチック資源の効率的な収集・リサイクルの推進に資する先進的なモデル形成に取り組む地方公共団体を対象に、プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の公募を行いました。

#### ■採択結果

地方公共団体名	事業名	事業の概要
宮城県石巻市	プラスチック資源循環に係るリサイクル体制の可能性調査事業	組成調査と簡易分析を通じて、中間処理施設及び保管施設等の規模や処理能力などを調査し、最適な処理スキームと今後の中間処理施設等の設置に向けた検討を行う。
秋田県（大仙市、美郷町）	大仙・美郷エリアにおけるプラスチック資源循環モデル（仮称）の実現可能性検討事業	既存のペットボトル回収スキームや一時保管施設等を最大限活用した複数自治体によるプラスチック資源の循環モデルの早期実現に向け、大仙市大曲地区と美郷町全域において、焼却処理しているプラスチックごみの一括回収を行い、収集運搬の合理化検討や環境性・経済性の検証などを実施する。
茨城県石岡市	プラスチックの再資源化に関する実証実験事業	拠点回収や回収したプラスチックの再商品化の実証やその効果を把握し、プラスチックの地産地消モデルの形成を行う。
栃木県宇都宮市	宇都宮市プラスチック資源一括回収実証事業	居住形態の異なる2地区のプラスチック資源排出量や周知効果の調査、組成分析などの基礎データ収集を行うとともに、アンケート調査による住民理解度の把握を行う。
埼玉県さいたま市	さいたま市プラスチック回収先行地域実証事業	指定法人ルートを活用した一括回収を想定し、簡易分析や住民へのアンケート実施等により、今後増加する高齢者世帯等に対する周知方法や地方財政を圧迫しない費用対効果を踏まえた最適な分別処理方法の検討を行う。
富山県魚津市	新川広域圏プラスチック資源一括回収合理化検討事業	新川広域圏事務組合で製品プラスチックを発電燃料処理している4自治体（魚津市、黒部市、入善町、朝日町）において、今後のプラスチック資源化処理に向けた最適な移行モデルの作成と効果検証を行う。
兵庫県姫路市	プラスチック製容器包装及びプラスチック製品一括回収に向けた実証事業	容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収を行い、組成調査及び効果検証を通じて、一括回収に向けた課題を明らかにする。特に、自治体区域内に再商品化事業者が存在しない場合において、どの程度選別作業を省略できるかを検証する。
広島県呉市	プラスチック資源の分別収集に向けた実証試験	回収したプラスチック資源の組成分析調査を実施し、一括回収への移行に向けた効果検証を行う。また、中間処理（ペール化工程）における課題や事業者の受入体制の検討のため、本モデル事業の過年度業務で得たデータ・知見を活用し、他自治体にも参考になりそうな課題対策の検討を行う。
大分県佐伯市	持続可能な廃プラスチックリサイクル可能性調査事業	容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収の拠点回収実験を指定モデル地区にて行い、効果検証及び組成調査等を通じて、プラスチックの分別収集にかかる収集運搬・リサイクル処理の経費、コース等燃料の消費量、発電量への影響等の費用対効果を明らかにする。
鹿児島県鹿児島市	プラスチック資源循環推進事業	容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収や通常の中間処理施設と古紙業者での圧縮梱包、再商品化事業者での中間処理、再商品化を行い、移行後における効果の把握や最適なモデルの検討を行う。

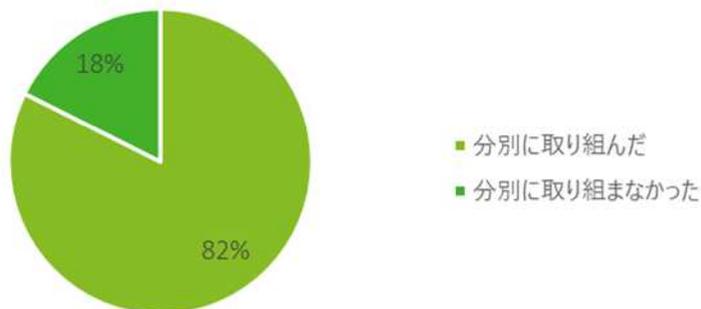
# 6 アンケート調査の結果（環境省）

- 82%が今回の実証で分別に取り組んだと回答しました。

#	設問	回答方式
問7	今回の実証事業にて、食品包装プラスチックと同一袋でその他の容器包装プラスチックや製品プラスチックを収集する時の分別に取り組みましたか。	選択式

**全体**

単位：%  
N=119



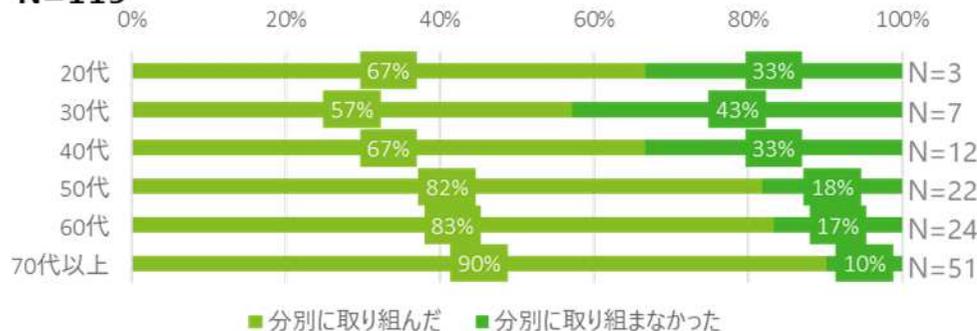
**世帯別**

単位：%  
N=119



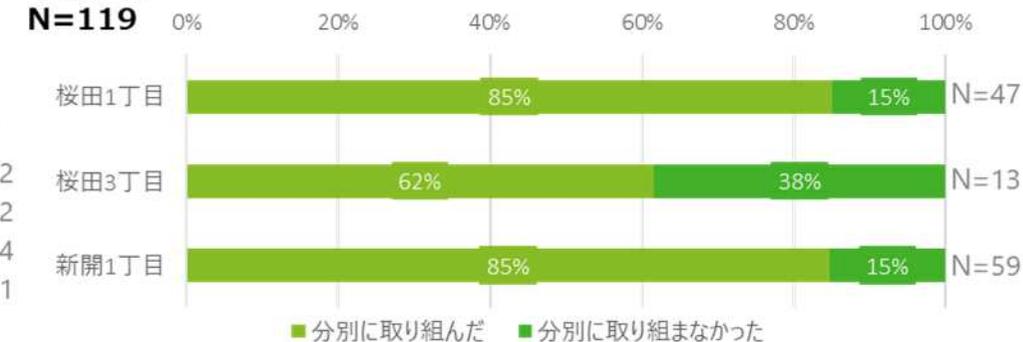
**世代別**

単位：%  
N=119



**地域別**

単位：%  
N=119



※令和5年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の本市のアンケート結果より

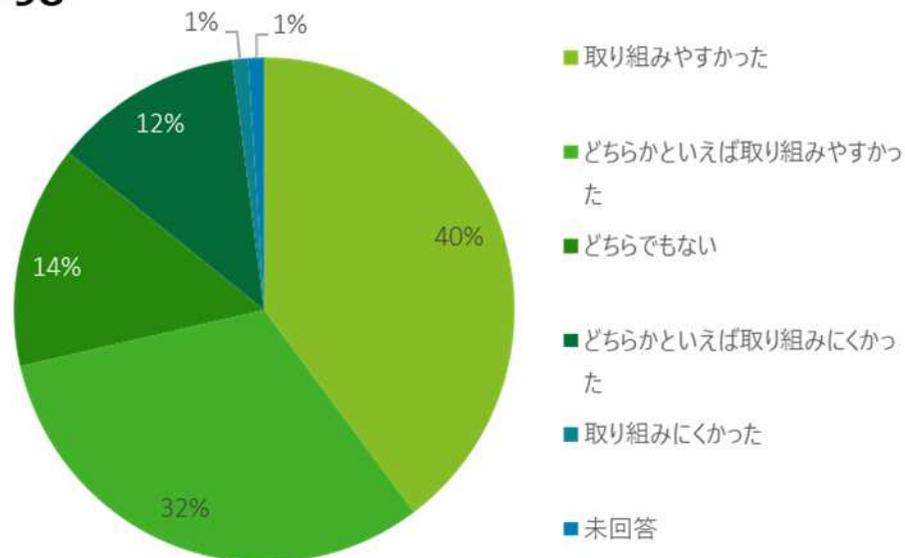
# 6 アンケート調査の結果

- 「取り組みやすかった」「どちらかといえば取り組みやすかった」という回答が72%となりました。

#	設問	回答方式
問8	通常の商品包装プラスチックのみを収集する分別方法と比べて、今回の実証事業の容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括で収集する分別方法は取り組みやすかったですか。	選択式

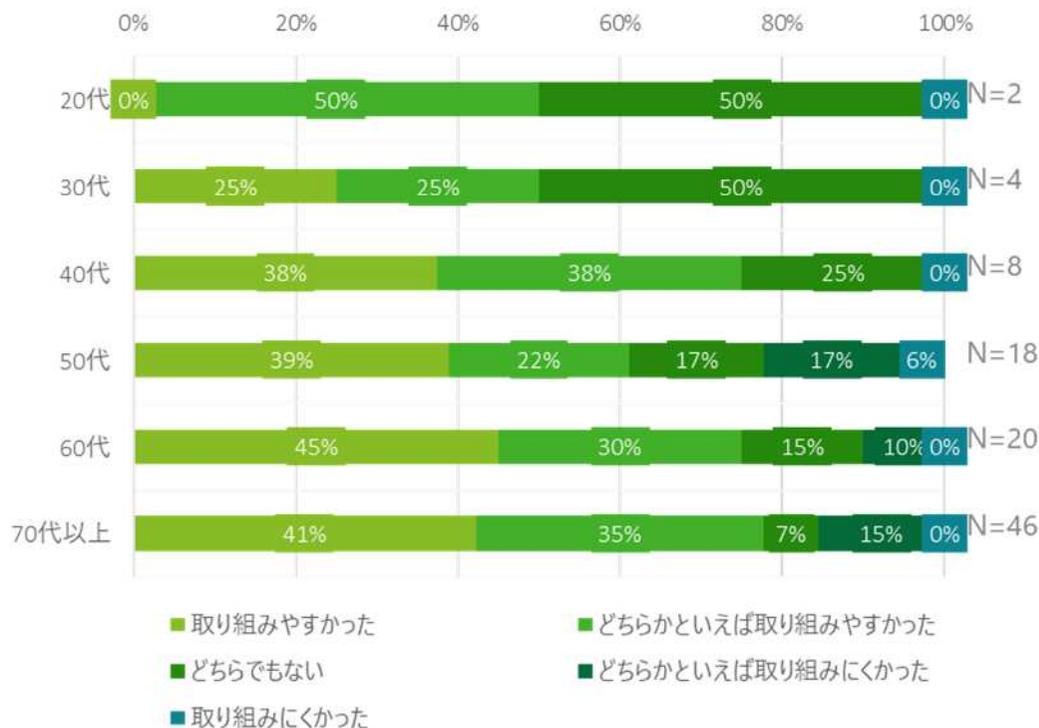
全体

単位：%  
N=98



世帯別

単位：%  
N=98



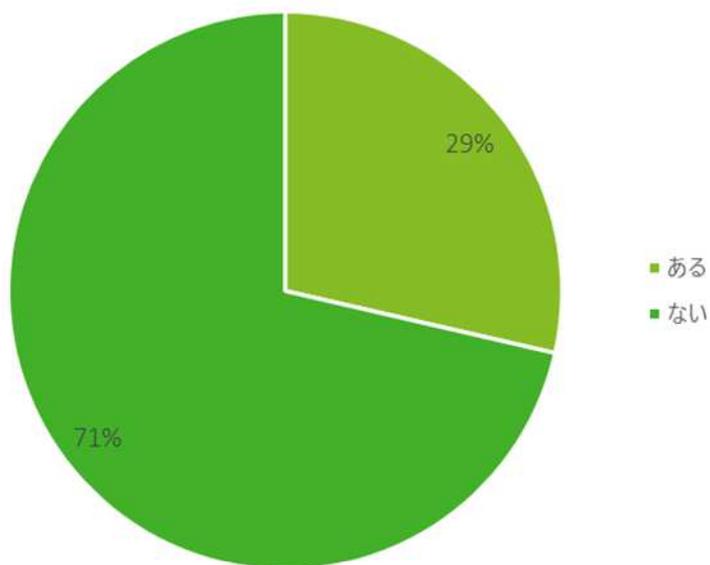
※設問7で「取り組んだ」と答えた回答者のみ対象

# 6 アンケート調査の結果

- 29%の回答者が分別しなかった/できなかったプラスチックがあると回答しました。
- 特に多かったのは「マヨネーズ容器」で、理由は「汚れを取るのが手間だった」が最も多かったです。

#	設問	回答方式
問13	今回の実証事業の中で、分別しなかった/できなかったプラスチックはありますか。	選択式

単位：％  
N=98



※設問7で「取り組んだ」と答えた回答者のみ対象

#	設問	回答方式
問14	今回の実証事業の中で、分別しなかった/できなかったプラスチックの具体的な品目を教えてください。	選択式 (複数回答)

N=36 ※複数回答可。未回答は含まない。

品目	理由						未回答
	汚れが取れず、分別できなかった	汚れを取るのが手間だった	電池が使用されているか判断できず、分別できなかった	プラスチックか異素材か判断できず、分別できなかった	プラスチックと異素材を分離できず、分別できなかった	その他*2	
マヨネーズ容器	2	4				1	N=7
タッパー	1			1			N=2
プリンター		2					N=2
ケチャップ容器	2						N=2
わさび等のチューブ容器		2					N=2
歯ブラシ						2	N=2
花瓶				1			N=1
髪留め					1		N=1
その他*1	5	4			2	4	N=17

\*1:その他の品目・・・トレイ、ラップ、洗剤容器、目薬の容器、レトルトの袋等

\*2:その他の理由・・・衛生上の理由、洗っても着色が取れず出していいかわからなかった等

※令和5年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の本市のアンケート結果より

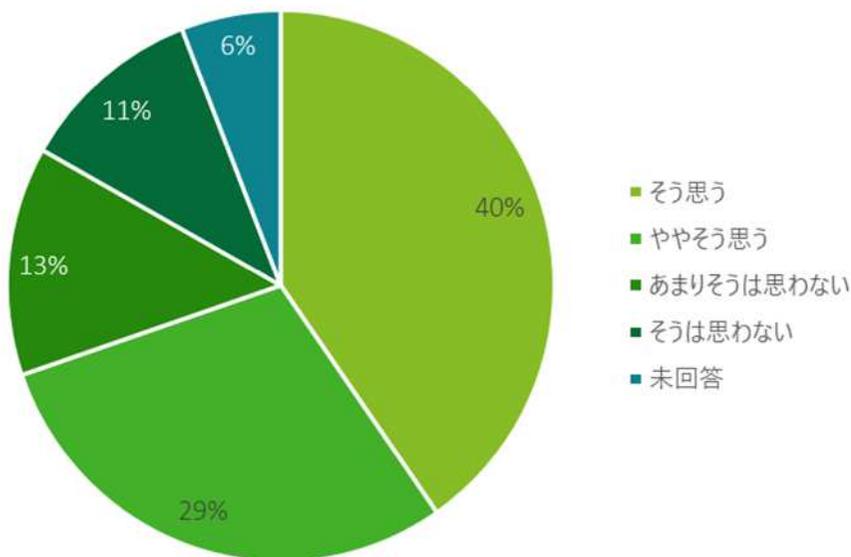
# 6 アンケート調査の結果

- 一括回収に早急に取り組むべきという質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」が全体の69%を占める結果となりました。

#	設問	回答方式
問16	今回の実証実験を踏まえて、さいたま市はプラスチックの資源化に向けて、一括回収を早急に取り組むべきと考えますか。	選択式

全体

単位：%  
N=119



世代別

単位：%  
N=119

